

MCR 講座「思春期講座」

1 目的

- ・子どもの思春期について理解することで、自らの子育てや家庭教育力の向上のための良い機会とする。
- ・MCR 学級生の学びの場を広げる一助とする。

2 日時・会場・参加人数

日時 : 令和 6 年 6 月 25 日(火) 10:00~12:00

会場 : 松戸市民会館 301 会議室

参加人数: 64 名 (MCR 学級生、小学校家庭教育学級生) 一時預かり 1 名

3 内容

○主催者挨拶

○講演

演題「～思春期のころとからだ～」

講師 助産師、チャイルド・ファミリーコンサルタント
やまがた てるえ氏

○質疑応答

4 概要

今年度初の MCR 講座でした。「思春期講座」ということもあり、大変関心の高い講座となりました。講演では、付箋を上手に使いながら、グループワークの時間も設けられ、予定終了時間が過ぎるほど、内容の濃い、充実した講演となりました。

講演内容としては、①最近の性教育について

②思春期の体と心について

③これから変わる親子関係 大きく3つに分かれてのお話でした。

最初に、日本は、国際的に「性教育」が遅れていたが、これからは「包括的性教育」としてポジティブに科学的根拠のある教育のニーズが求められ始めているとのお話がありました。また、思春期とはなにか・・・第2次成長とも呼ばれ、小学校高学年から中学、高校時代に起こる心と体の変化の時期を指し、いわゆる、子どもから大人へ大きく変化する時期。その思春期を理解するために、男の子や女の子の心と体の変化の特徴や悩みなどについて詳しくお話していただきました。また、子どもへの伝え方としては、絵本・本・動画・WEB サイトを上手に活用するなど、すぐに役立つアドバイスもいただきました。

最後に、思春期に対応するために、大人も自分が好きなこと、やりたいことをやってみてほしい。大人の Well-being を心掛けてほしいとのお話がありました。

講演最後には、「MCR 学級なんでも質問 BOX(資料に添付)」に寄せられた質問に丁寧にお答えいただきました。

5 参加者の主な感想

- ・我が子には少し早いテーマだとは思いましたが、段階的に話を進めていただき、わかりやすかったです。
- ・動画や QR コードや書籍の案内も多く、各自で学べるツールもあり、とてもよい内容でした。
- ・イメージとは違い、分かりやすかった。思春期が恐ろしいものではないと思えました。
- ・自分の時代と性教育の概念が、随分変わってきたと思えました。
- ・思春期だけでなく、子育て全般において、親子関係や子どもとの関わりについての学びを深めることができました。

